

KOBELCO

株主の皆様へ

2019年4月1日～2019年9月30日

第167期
上半期



証券コード: 5406

<お知らせ>

「株主様見学会参加者募集のご案内」を
6ページに掲載しております。

株式会社 神戸製鋼所

重点テーマである「素材系を中心とした収益力強化」と「経営資源の効率化と経営基盤の強化」を、2020年度までに完遂するとともに、自動車軽量化戦略などの継続的なテーマに取り組むことで、社会課題解決への当社独自の貢献と企業価値向上を追求していきます。

株式会社神戸製鋼所 代表取締役社長

山口 貢



株主の皆様には、日頃から格別のご高配を賜わりまして厚く御礼申し上げます。

2019年度上半期の業績やトピックスなどをご報告いたしますので、是非ご覧いただきたく存じます。

当期の業績及び当期の配当について

さて、当社グループの当上半期の連結業績につきましては、後述の「業績のご報告」でご説明いたします通り、売上高は前年同期に比べ137億円減収の9,444億円、営業利益は同156億円減益の74億円、経常利益は同78億円減益の14億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ396億円悪化の62億円の損失となりました。

続いて、当期の業績見通しにつきましては、米中貿易摩擦の影響などで世界経済全体が減速していることから、先行きが不透明であること、特に鉄鋼において、海外自動車向けなどを中心に需要の減少が見込まれることや、アルミ・銅において半導体・IT向けの需要回復が遅れていることによる数量減に加え、海外子会社での設備トラブルの影響が想定より長引いていることなどから、引き続き厳しい見込みとなっております。

そのため、売上高は1兆9,700億円程度、経常損益は0億円程度、また親会社株主に帰属する当期純損益は、当上半期で特別損失として計上した投資有価証券評価損などを織り込んだ結果、50億円程度の損失を見込んでおります。

これを受け、当期の中間配当につきましては、財政状態、業績の動向、先行きの資金需要などを総合的に勘案した結果、誠に遺憾ながら見送ることとなりました。株主の皆様のご期待に添うことが出来ず誠に申し訳ございませんが、事情をご賢察のうえ、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

当社の経営課題について

先に申しあげた通り、経済環境などの外部環境に不透明感が強まる中、当社グループにおいては、設備稼働率の低迷など「ものづくり力」に関わる課題も顕在化しております。こうした課題のうち、例えば、設備トラブルの影響が長引いている海外子会社につきましては、生産体制の早期の立て直しに向け、日本からの支援も含め、グループを挙げた緊急対応を実施しております。加えて、コストの削減についても既に検討を開始しており、ものづくり力の強化に必要なコスト水準を見極めつつ、スピード感を持って着手してまいります。

また、本年5月に「2016～2020年度グループ中期経営計画」の総点検*を実施いたしました。 「素材系を中心とした収益力の強化」と「経営資源の効率化と経営基盤の強化」が最重要課題であると確認しており、現在様々な取り組みを行っております。

その中でも、素材系事業の収益力強化の大きな柱である鉄鋼とアルミ・銅事業部門の組織改編につきましては、2020年4月の実施に向けて計画通りに進捗しております。

加えて、グループ会社の再編にも着手しており、当上半期において、銅管子会社の売却など具体的な意思決定をいたしました。また、政策保有株式の売却など経営資源の効率化も前倒しで進めております。



社長と部長・係長クラスとの対話の様子

信頼回復に向けて

2017年10月に公表いたしました当社グループにおける品質不適切行為によって失った信頼を回復することは、当社グループの企業価値向上のためには何よりも重要です。現在、社員意識・企業風土の改革に向けて、私を含む経営幹部がグループ社員と直接語り合うことで、不適切行為と決別する姿勢を共有するとともに、変化への意欲や健全な危機意識を決して風化させることのないよう取り組んでおります。また、製造現場での困りごとを放置しないための取り組みや、試験・検査機器などの導入・増設による試験・検査データの不適切な取り扱い機会の排除なども順次進めてきて

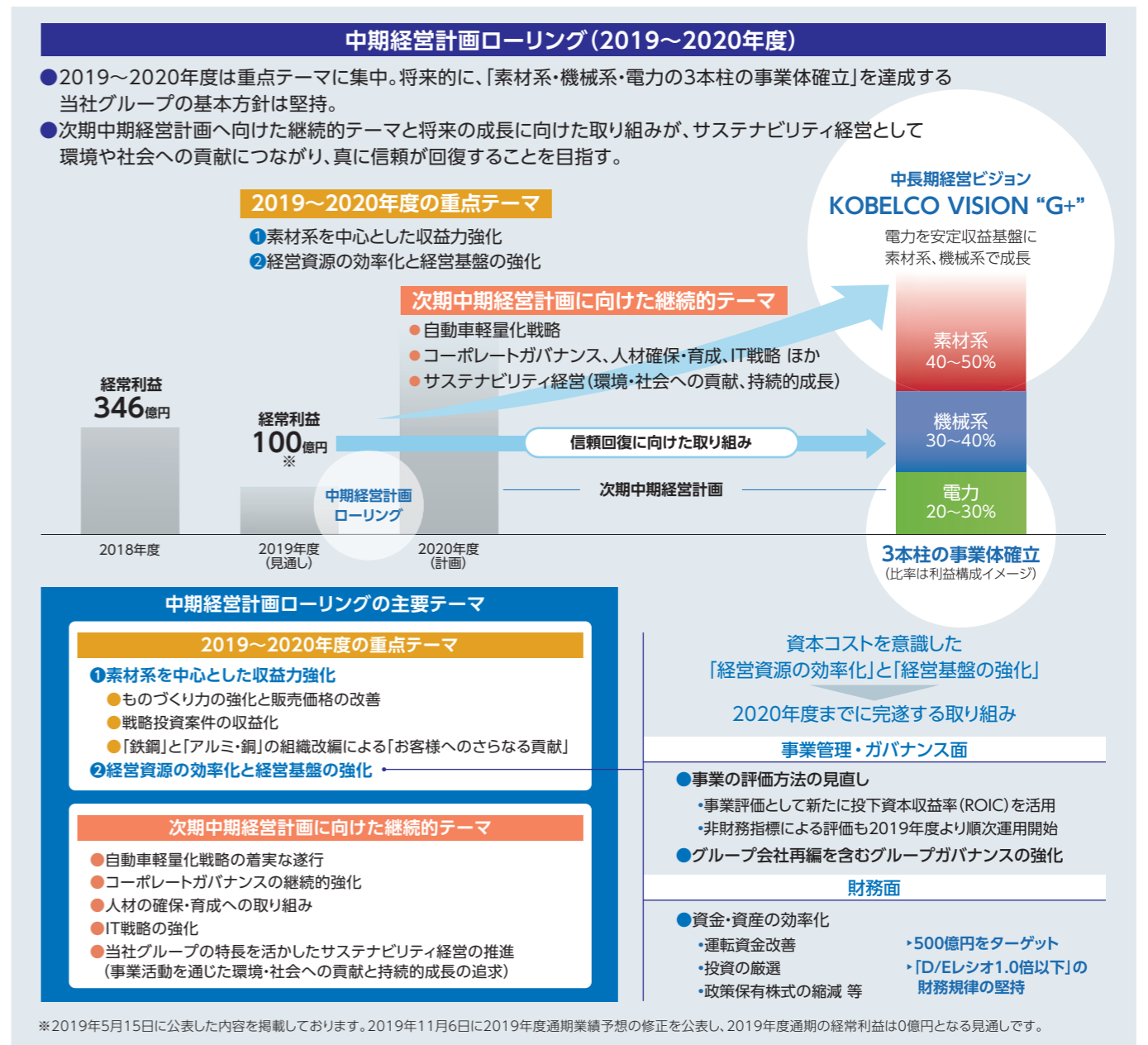
おります。引き続き、危機意識をもってこれらの取り組みを進めてまいります。

2019年度から2020年度にかけての2年間は、信頼回復と将来の飛躍に向けての大切な時です。事業環境が厳しい今こそ、私たち経営陣は、将来における当社グループの安定と成長を見据えながら、足下の課題解決に全力で取り組んでいく所存です。

株主の皆様におかれましては、引き続き、ご指導とご鞭撻を賜りますとともに、当社グループをご支援いただきたく、何卒宜しくお願い申し上げます。

2019年12月

*【中期経営計画ローリング】として2019年5月15日に公表しております。(以下もご覧ください。)



▶ 関連リンク ▶ **「神戸製鋼グループ 統合報告書2019」では、さらに詳しい情報を掲載しています。**
(QRコードを読み取っていただくと、統合報告書ウェブサイトへアクセスできます。)

● P.40 中長期経営ビジョン KOBELCO VISION "G+" ● P.42 中期経営計画ローリング

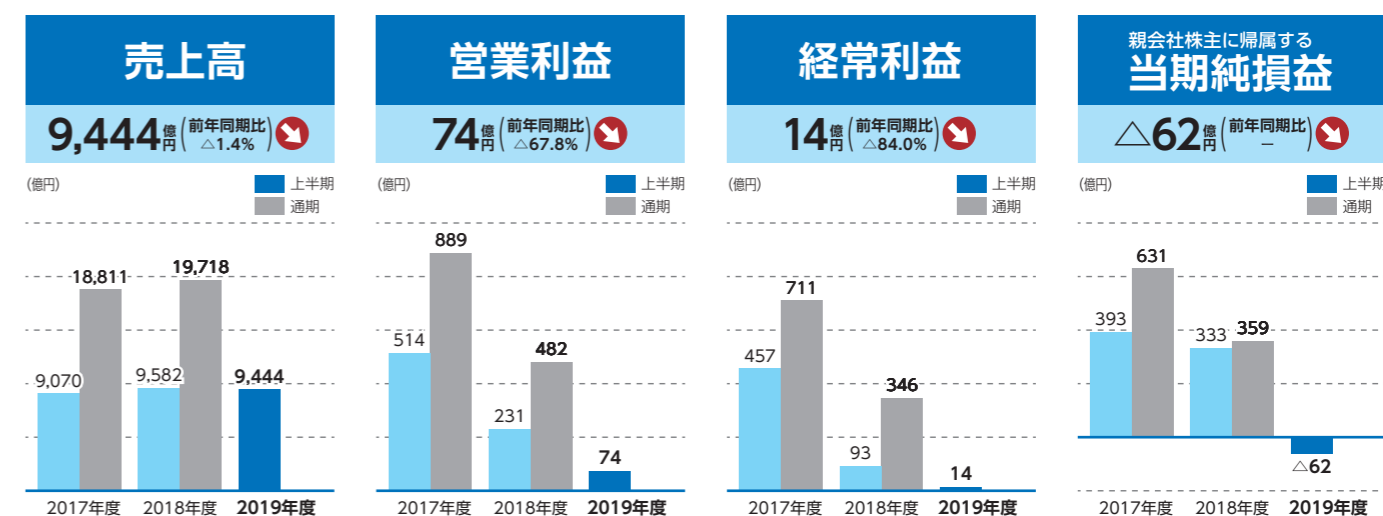
※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

当期の概況

鋼材の販売数量は、海外自動車向けを中心に需要が減少し、生産設備の一過性のトラブルや自然災害による数量減があった前年同期並となりました。アルミ圧延品の販売数量は、半導体・IT向けの需要が減少したことなどから、前年同期を下回りました。銅圧延品の販売数量は、銅板条において自動車用端子や半導体向けの需要が減少したことなどから、前年同期を下回りました。油圧ショベルの販売台数は、地域によって増減があるものの、全体としては前年同期並となりました。

この結果、当上半期の売上高は、前年同期比137億円減収の9,444億円となり、営業利益は前年同期比156億円減益の74億円、経常利益は前年同期比78億円減益の14億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は、投資有価証券評価損を特別損失として計上したことなどから、神鋼不動産(株)の株式の一部譲渡などによる特別利益を計上した前年同期に比べ、396億円悪化の62億円の損失となりました。

業績ハイライト(連結)



事業別売上高(2019年度上半期)

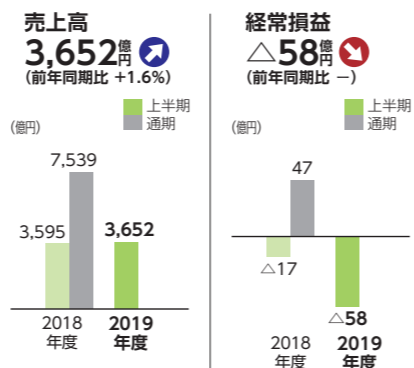


- 鉄鋼 38%
- 溶接 4%
- アルミ・銅 18%
- 機械 8%
- エンジニアリング 6%
- 建設機械 20%
- 電力 4%
- その他 1%

(注) 上記円グラフの各事業の売上高の合計から、各事業間の内部売上高等の消去額231億円を差し引いた金額が、連結売上高の合計額9,444億円となります。なお、各事業別の比率は、各事業の売上高の合計をもとに算出しております。

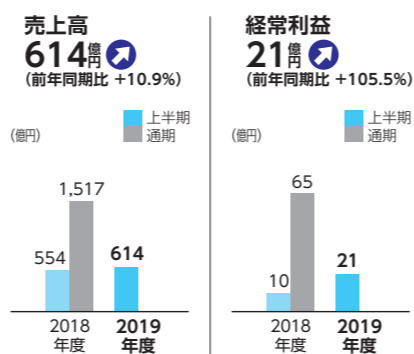
鉄鋼

加古川製鉄所 転炉工場



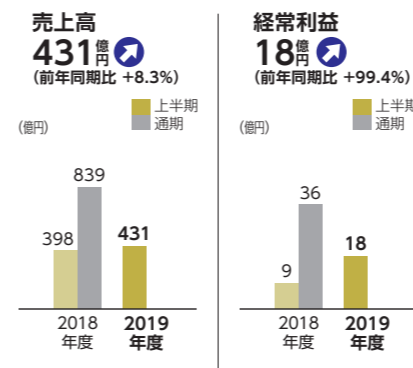
エンジニアリング

ジャカルタ都市高速鉄道 南北線



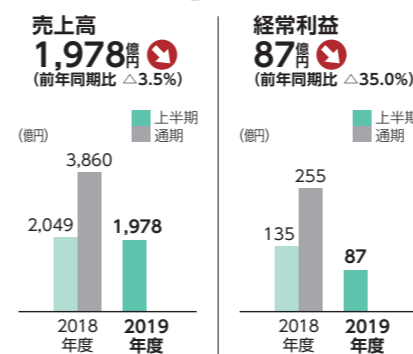
溶接

フラックス入りワイヤ (FCW)



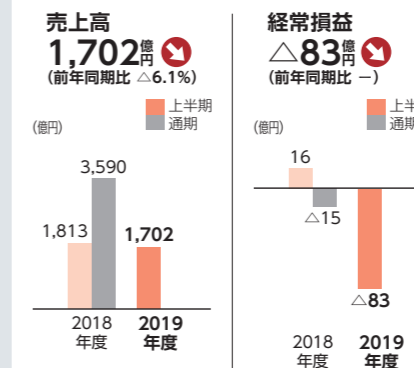
建設機械

テレスコピック クローラークレーン 情報化施工ブランド



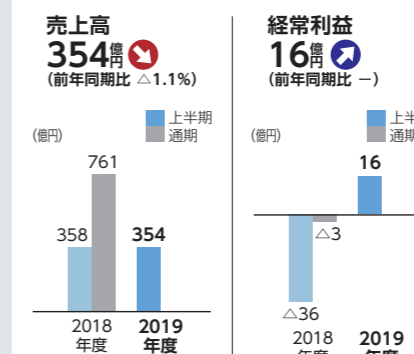
アルミ・銅

自動車端子・コネクタ用銅合金



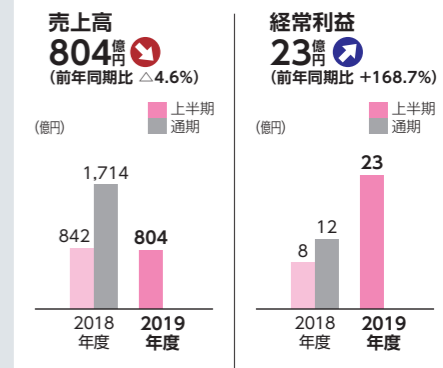
電力

真岡発電所



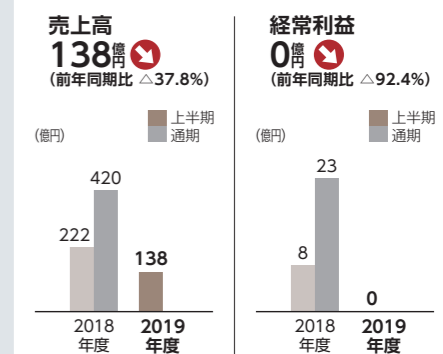
機械

汎用圧縮機「エムロード」



その他

透過型電子顕微鏡を用いた研究 (コベルコ科研)



2019年度上半期 (2019年4月～2019年9月)

4月

エンジン インドネシアで初の地下鉄「ジャカルタ都市高速鉄道南北線」の営業運転開始

インドネシアで初の地下鉄「ジャカルタ都市高速鉄道南北線」が、2019年4月1日に営業運転を開始しました。当社は、三井物産(株)、東洋エンジニアリング(株)など4社でコンソーシアムを組み、列車の運行を含むシステム全体を構築するシステムインテグレーターとして参加。信号・通信設備、自動出改札システム、ホームドアなどの設計・供給を行いました。



ジャカルタ都市高速鉄道南北線

5月

溶接 「自動車足回り向けスラグ低減溶接プロセス」のマツダ「MAZDA3」への初採用

当社とマツダ(株)は、発錆の起点となるスラグ※を低減し、自動車の足回り部品の防錆性能を高めた画期的な溶接方法である「自動車足回り向けスラグ低減溶接プロセス」を開発しました。本技術は、マツダ「MAZDA3」に初めて採用され、今後他の車種にも展開される予定です。本共同開発は、「2018年度(第49回)日本溶接協会技術賞(本賞)」を受賞しました。



日本溶接協会技術賞(本賞)受賞者

※スラグ:溶接部に生じる非金属物質。溶融金属中の元素と、シールドガスや大気中に含まれる酸素などが反応・結合したものです。

6月

鉄鋼 高生産性ホットスタンプ用めっき鋼板の開発ならびに量産開始

当社は、主に自動車ボディ骨格部品に使われるホットスタンプ※用めっき鋼板を開発し、量産を開始しました。本製品は、2017年に開発した高生産性ホット

スタンプ用冷延鋼板に亜鉛めっき処理を施したもので、耐食性が付与された製品です。これにより、お客様のニーズに応えるラインナップを拡充し、適用部品が拡大する可能性が大きく広がりました。本製品とGestamp社(スペインの自動車部品会社)の加工技術を組み合わせることにより、この度、欧州自動車メーカーへ初めて適用され、量産化に至りました。

※ホットスタンプ:プレス前に鋼板を高温に加熱し、強度が下がり加工性が上がった段階でプレス成型を行なう加工方法。プレスしたまま金型で焼き入れることで強度を大きく上げることができる。



Gestamp社工場

8月

経営 “子育てサポート企業”として「プラチナくるみん」認定を取得

当社は、特に優良な「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣より「プラチナくるみん」の認定を取得しました。この認定は、育児をはじめとした両立支援制度の導入や利用が進み、高い水準の取り組みを継続していることを認められた企業が受けることができるものです。当社は引き続き、子育てサポ

ート支援に限らず、ダイバーシティ推進を重要な経営課題の一つに位置づけて取り組んでまいります。

時間制約のある時期の働き方を上司と本人と一緒に考える研修の様子



9月

第25回株主様見学会参加者募集のご案内

当社は、株主の皆様当社グループへのご理解を一層深めていただくために、第25回株主様見学会を開催いたします。今回ご覧いただくのは、加古川製鉄所とコベルコ建機 広島事業所でございます。つきましては以下の内容にて開催いたしますので、ご案内申し上げます。

株主様見学会の概要 ※詳細は、ご招待状にてご連絡させていただきます。

申込番号	開催場所	実施日時(2020年)	集合時刻	解散予定時刻	集合・解散場所
①	コベルコ建機 広島事業所	3月2日(月)	9:30	12:00	JR五日市駅*
②			13:30	16:00	
③	加古川製鉄所	3月22日(日)	8:50	13:00	JR加古川駅*
④			13:15	17:25	
⑤			8:50	13:00	
⑥	コベルコ建機 広島事業所 広島県広島市佐伯区五日市港2丁目2-1	3月23日(月)	13:15	17:25	加古川製鉄所 兵庫県加古川市金沢町1

- 対象者: 2019年9月30日現在、当社株式を1単元以上ご所有の株主様
- 募集人数: 加古川製鉄所 360名(各回90名) コベルコ建機 90名(各回45名)
※募集人数には同伴者様も含まれます。
- 参加費: 無料 ※ただし、集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます。
- 応募方法: 同封の参加申込はがきに必要な事項をご記入のうえ、ご返送ください。
※対象者の方のみ、はがきを同封しております。
【締切日: 2019年12月27日(金) 到着有効】
- お問い合わせ: 株式会社神戸製鋼所 コーポレート・コミュニケーション部 株主様見学会係
【TEL】078-261-4067
【受付時間】10:00~17:00(土・日、祝日、その他会社の休業日を除く)

これまでの開催実績(過去4回分)

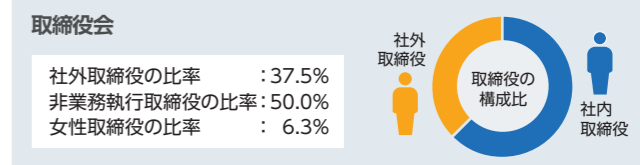
日時	開催場所	募集人数	ご応募総数
2018年2月	加古川製鉄所 コベルコ建機 広島事業所	450人	1,614通
2018年11月	真岡製造所	240人	1,091通
2019年2-3月	神戸総合技術研究所 神戸製鉄所	290人	2,408通
2019年11月	高砂製作所	320人	1,869通

以下の点につき、あらかじめご了承ください。

- ご見学コースには階段を含む比較の長い距離の徒歩の区間が含まれます。
- 当日、株主様・同伴者様に徒歩でのご見学に支障があると当社が判断した場合は、ご見学の中断・ルート変更等をお願いする場合がございます。
- ご応募が多数の場合、抽選とさせていただきます。
抽選の結果は2020年1月下旬頃にご通知する予定です。
- 同伴者様は1名まで(小学生以上)とさせていただきます。
なお、同伴者様がいらっしゃる場合は必ず参加申込はがきに同伴者様に開する必要事項をご記入ください。
お申込後に、同伴者様の追加はお受けすることができません。
- 以下の場合、ご応募は無効とさせていただきます。
 - 株主様ご本人のご応募・ご参加でない場合
 - 同伴者様を2名以上ご記入の場合
 - 申込番号を2つ以上選択されている場合、もしくは1つも選択されていない場合
 - 株主様1名につき、2枚以上ご応募された場合
 - 株主様のお名前等、必要事項のご記入がない場合

取締役(2019年9月30日現在) | 社内取締役 | 社外取締役

業務執行	代表取締役社長	代表取締役副社長執行役員	代表取締役副社長執行役員
	山口 貢	尾上 善則	柴田 耕一郎
	代表取締役副社長執行役員	代表取締役副社長執行役員	代表取締役副社長執行役員
	興石 房樹	大濱 敬織	勝川 四志彦
	取締役専務執行役員	取締役専務執行役員	
	眞部 晶平	北川 二郎	
非業務執行			
	社外取締役	社外取締役	社外取締役
	北畑 隆生	馬場 宏之	伊藤 ゆみ子
	取締役(監査等委員)	取締役(監査等委員)	
	石川 裕士	対馬 靖	
	社外取締役(監査等委員)	社外取締役(監査等委員)	社外取締役(監査等委員)
	沖本 隆史	宮田 賀生	千森 秀郎



▶関連リンク
「神戸製鋼グループ 統合報告書2019」では、さらに詳しい情報を掲載しています。
(QRコードを読み取っていただくと、統合報告書ウェブサイトへアクセスできます。)
●P.76 コーポレートガバナンス

会社の概要(2019年9月30日現在)

創立	1905年9月	株主数	186,833名
発行済株式総数	3億6,436万4,210株	従業員数	11,786名
資本金	2,509億3,003万3,900円		

株式のお手続きに関するお問い合わせ先

株主名簿管理人・特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
当社株式に関する住所・氏名等の変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求及び相続などのご相談、お手続きは、以下にお問い合わせください。

(お問い合わせ先)〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

☎ 0120-094-777 (通話料無料(平日9:00~17:00))

※証券会社にお預けの当社株式については、お預けの証券会社にお問い合わせください。
※未受領配当金のお受取りのお手続きについては、三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

環境への取り組みと社会との共生

神戸製鋼グループは、全ての生命体を育む健全な地球環境を次世代に引き継ぐことが私たちの使命であると認識し、「環境に配慮した生産活動」、「技術・製品・サービスでの環境への貢献」、「社会との共生・協調」を環境経営基本方針として定め、社会的責任を果たすとともに、企業価値向上に努めています。

森林整備活動の実施

当社は、従業員のボランティアによる森林整備活動をKOBELCOの森（三木市）、ECOWAYの森（神戸市灘区）の2ヶ所で行なっています。

活動にあたっては、森林整備インストラクターにご指導いただきながら、さまざまな高さの木や下草がバランス良く生え、いろいろな年齢・樹種により構成された樹林を目指し、手入れの行き届いて



森林整備活動の様子

ていなかった木々の伐採や下草刈り、植樹等を実施し、生物多様性の保全と促進に資するよう取り組んでいます。



KOBELCOの森 活動後の集合写真

ラグビーを通じての活動

当社ラグビー部 神戸製鋼コベルコスティーラーズは、地域で暮らす一員として積極的に社会との交流を図り、様々な活動を行なっています。

5月には地元神戸市で行なわれる最大級のイベント「神戸まつり」のパレードにチームとして参加し、今年開催されたラグビーワールドカップ2019日本大会の機運醸成に向けた活動を行ないました。

また、神戸市内の小学校を中心としたタグラグビー（タックル等の接触プレーをなくした、安全性の高いラグビー）の指導や、近隣のラグビースクールへの指導に所属選手を派遣する活動を継続して行なっています。これらの活動はスポーツを通じた青少年の育成に繋がると考えています。

今後も神戸製鋼コベルコスティーラーズは、ラグビーを通じた社会貢献を継続し、地域に根差したチーム作りを行なっていきます。



神戸まつりの様子



タグラグビー教室の様子



▶ 関連リンク

「神戸製鋼グループ 統合報告書2019」では、さらに詳しい情報を掲載しています。
(QRコードを読み取っていただくと、統合報告書ウェブサイトへアクセスできます。)

● P.88 神戸製鋼グループのサステナビリティ経営



KOBELCOの
3つの約束

神戸製鋼グループの社会に対する約束事であり、グループで共有する価値観です。

- 1 信頼される技術、製品、サービスを提供します
- 2 社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます
- 3 たゆまめ変革により、新たな価値を創造します

KOBELCOの
6つの誓い

私たち神戸製鋼グループに属する全社員は、「KOBELCOの3つの約束」を果たすために、以下を宣誓します。

1 高い倫理観とプロ意識の徹底

私たちは、法令、社内ルール、社会規範を遵守することはもちろんのこと、高い倫理観とプロとしての誇りを持って、公正で健全な企業活動を行います。

2 優れた製品・サービスの提供による社会への貢献

私たちは、「品質憲章」に基づき、安全かつ安心で、優れた製品・サービスを提供し、お客様の満足と社会の発展に貢献します。
【品質憲章】
KOBELCOグループは、製品、サービスにおいて「信頼される品質」を提供するために法令、公的規格ならびにお客様と取り決めた仕様を遵守し、品質向上に向けてたゆまめ努力を続けてまいります。

3 働きやすい職場環境の実現

私たちは、安全で安心して働くことができる職場環境を実現します。また、一人ひとりの人格・個性・多様性を互いに尊重し、それぞれが最大限の能力を発揮して活き活きと働ける職場環境を実現します。

4 地域社会との共生

私たちは、グループの基盤である地域社会に貢献するよう努めます。

5 環境への貢献

私たちは、より豊かで住みやすい社会づくりを目指して、環境に配慮した生産活動を行い、技術・製品・サービスで環境に貢献するよう努めます。

6 ステークホルダーの尊重

私たちは、お客様、お取引先、社員、株主等を含む幅広いステークホルダーを仲間として尊重し、健全かつ良好な関係を築きます。

KOBELCO



この「株主の皆様へ」は環境に配慮し、漂白のために塩素を使用しない用紙、および植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。